

戸塚 文彦 議員

コミュニティFM局を

開設しては

問 東日本大震災で大変有効であったコミュニティFM局を、災害時の災害情報の伝達手段として開局してはどうか。

答 災害時に市独自の放送局として開設できる臨時災害放送局がある。課題もあるが、関係機関と協議し検討していきたい。

旧クリーンセンター

解体工事計画は

問 閉鎖され4年が過ぎている。解体計画は平成25年度までとなっているが、いつから工事を始めるのか。

答 議会や地域に相談させていただいた中で、できるだけ早く解体していきたい。



跡地利用が検討される旧クリーンセンター

旧クリーンセンターの

跡地利用は

問 地盤が強固な場所なので、災害時、現状の災害対策本部が機能不全になった場合のため、第2の防災拠点として防災センターの設置をしたらどうか。

答 消防署庁舎の建て替え等も含めた中で、この地が防災センターとして適切かどうか検討していきたい。

田中 克周 議員

グラウンドワーク・

インターンシップ研修の成果は

問 研修はどのような内容で、どのような職員が参加され、今後どう生かすのか。

答 防災や福祉、農業、観光、まちづくり等に携わる30〜40代の35人を派遣した。専門講義とNPO等の現場体験を通し、パートナーシップの有効性や課題を学んだ。今後こうした職員が、住民とのパートナーシップ推進の牽引役となるよう成果を生かしたい。

「防災士」をどう生かすか

問 防災先進市として、防災士の組織化を図り、地域防災力を高めるべきでは。

答 現在市内に173人の防災士がいる。個々の情報交換や防災力強化のため、今後、組織化を図っていきたい。

多重債務者救済で

滞納整理も

問 多重債務者包括的支援プロジェクトを作り、生活再建を通して、自主的な税金納付につなげるような取り組みはどうか。

答 多重債務の整理と債務者の生活再建については、市税や公料金の一元化や債務者との信頼関係、再建に至る生活設計などの課題がある。先進事例も研究していきたい。



グラウンドワーク・インターンシップ集合研修